



全消協ニュース

全国消防職員協議会発行／編集責任者 田立 理／東京都千代田区六番町1 自治労会館／☎(03) 3263-0271
ホームページアドレス／<http://zensyokyo.jp/>

全消協第45回定期総会

さらなる活動展開に向け、 2022年度新体制がスタート

コロナ禍で全消協第45回定期総会を完全ウェブで開催

2021年9月10日、新型コロナウイルス感染症の拡大情勢を踏まえ、初の完全ウェブで全消協第45回定期総会を開催し、代議員249名のうち218名の仲間が参加した。

【村上直樹会長挨拶】当初、組織拡大の観点から山口県山口市において、

参加した。



写真は第43回定期総会

「村」上直樹会長挨拶
「コ」ロナ禍にあつて、「日」本の消防職員の代表たる組織として、責任ある対応をとることが不可欠との考えのもとウェブ開催とさせていただきます。そのため、民主的な運営を行い公平・公正に説明責任を果たし、



代議員のみなさんに理解いただくため事前に単協代表者会議も開催したところである。
ウェブでの総会は今消協史上初の試みであり、議事進行・投票等多くの課題を抱えながらの開催となるが、今後2年間の活動方針として予算等を決定する重要な総

会となるため、代議員の皆様のご協力と活発な審議をお願いしたい。
【議事概要】

●議長団選出(越谷消協 杉田貴則さん、亀山消協 浦野慎治さん)

●村上会長挨拶(上記参照)

●新規加盟単協紹介・挨拶
(代表：中頓別町消協原岡会長)

(北海道 芦花から2単協 剣淵消協・中頓別町消協)

●来賓挨拶

青木雄次自治労本部総合組織局長
鬼木まこと第26回参議院議員選挙自治労組織内候補予定者

●2021年度活動経過報告
竹内洋司事務局長

●女性連絡会活動経過報告
長谷川亜純女性連絡会代表

●ユース部活動経過報告
永栗勝久ユース部代表

●2021年度会計決算報告
沼田健太郎副会長

●2021年度会計監査報告
中村智幸会計監査

●2022-2023年度活動方針案

須藤洋典副会長

●2022年度予算案
沼田健太郎副会長

●役員選挙委員会報告
三好 浩一郎 役員選挙委員会委員長

●2022-2023年度役員信任投票

なお、質疑については出席代議員4名から質問があった(質疑内容については次号に掲載予定)。
また、全ての議事について「e投票」で承認等を求め、全て可決・承認(役員投票にあつては信任)された。

さらに新型コロナウイルス感染症を乗り越えるための体制強化についての緊急決議を提起し、代議員から多くの賛同を得て承認された。

最後に、須藤洋典新会長の団結願張ろうでのこの日の総会を終了した。

【須藤洋典新会長挨拶】全消協は新たな役員体制でスタートし、様々な課題解決に全力で取り組むことを皆さんにお誓いする。

問題を共有し課題を抽出すること、そして抽出した現場の課題を、国などに申し入れることが役割である。引き続き、活発な活動を展開し、今まで以上に会員の皆様に寄り添ったサポート並びに住民サービスの向上に主眼を置いた活動に取り組み、組織強化にもつなげていく。全ての会員の全消協結集・協力をお願いする。共に頑張ろう!

【2022-2023年度役員体制】
2面参照

2022年度
役員体制



中国ブロック幹事

西尾 基貴
尾道消防職員協議会
(広島県)



事務局次長

川北 研人
四日市市消防職員協議会
(三重県)



四国ブロック幹事

山端 孝明
高松市消防職員協議会
(香川県)



北海道ブロック幹事

長谷川 亜純
函館市消防職員協議会
(北海道)



九州ブロック幹事

岡 大祐
佐伯市消防職員協議会
(大分県)



東北ブロック幹事

石黒 和久
新潟市消防職員協議会
(新潟県)



会長

須藤 洋典
高松市消防職員協議会
(香川県)



女性連絡会代表

吉永 紗弓
佐賀広域消防職員協議会
(佐賀県)



関東甲ブロック幹事

櫻木 圭
草加八潮消防職員協議会
(埼玉県)



副会長

佐藤 昭徳
延岡市消防職員協議会
(宮崎県)



ユース部代表

永楽 勝久
鳴門市消防職員協議会
(徳島県)



北信ブロック幹事

斉藤 好太郎
上田消防職員協議会
(長野県)



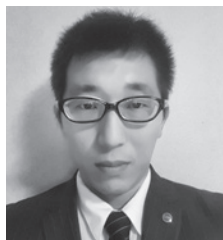
副会長

小野 英一
釧路市消防職員協議会
(北海道)



会計監査

高橋 博美
伊達地方消防組合職員協議会
(福島県)



東海ブロック幹事

右門 秀敏
松阪地区広域消防組合消防職員協議会
(三重県)



事務局長

田立 理
越谷市消防職員協議会
(埼玉県)



会計監査

竹本 典孝
新見市消防職員協議会
(岡山県)



近畿ブロック幹事

長谷部 寛
交野市消防職員協議会
(大阪府)



事務局次長

吉村 大作
指宿南九州消防職員協議会
(鹿児島県)

ユース部幹事

女性連絡会幹事



東海ブロック

上村 辰矢
鈴鹿市消防職員協議会
(三重県)



北海道ブロック

佐々木 嘉孝
音威子府村消防職員協議会
(北海道)



北海道ブロック

朽木 麻里奈
西いぶり消防職員協議会
(北海道)
副代表



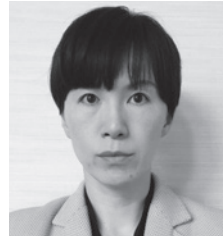
近畿ブロック

森崎 雅己
奈良県広域消防職員協議会
(奈良県)



東北ブロック

鈴木 直人
湯沢雄勝消防職員協議会
(秋田県)



東北・関東甲・北信ブロック

美齊津 麻衣
上田消防職員協議会
(長野県)



中国ブロック

田邊 寧人
福山消防職員親和会
(広島県)



関東甲ブロック

上野 将儀
日光市消防政策研究会
(栃木県)
副代表



東海・近畿・中国ブロック

佐藤 倫子
津市消防職員協議会
(三重県)



九州ブロック

北川 彰平
杵藤地区消防職員協議会
(佐賀県)
副代表



北信ブロック

関野 晃充
須坂市消防職員協議会
(長野県)



四国ブロック

三好 葵
高松市消防職員協議会
(香川県)

特別幹事

村上 直樹

春日・大野城・那珂川消防行政研究会
(福岡県)

竹内 洋司

四日市市消防職員協議会
(三重県)

斉藤 英之

須坂市消防職員協議会
(長野県)

会長挨拶

第45回定期総会にて会長に
信任いただいた須藤洋典(高
松市消協)です。新型コロナウイルス
ウィルス感染症の拡大により、
全消協結成以来経験をしたこ
とのない状況下で新体制発足
となりました。コロナ禍によ
り協議会活動を制限せざるを
得ない事態となっておりますが、
最もコロナによる影響を受け
ているのが我々の職場環境・
労働条件・安全衛生に関する
ことであり、全ての職場にお
いて改善をはかることが喫緊
の課題です。

現在、全消協は先輩方の功
績と自治労のご協力により、
総務省消防庁に対し直に改善
要望を提起することができて
います。また我々の仕事のルー
ルを制定する国会においても
自治労消防政策議員懇談会
(119人)の協力のもと、消
防行政の実情を国政の場で訴
えることができます。

全消協が直接、各単協の問
題を解決することはできませ
んが、政府や国会議員、また

会長となりましたが、会員
の皆さん一人ひとりの支えな
しでは活動することはできま
せん。それは全消協幹事会の
みならず、単協・県消協・ブ
ロックでも同じことだと思
います。会員の皆さんは単協役
員を、単協役員は県(消協)
役員を、県(消協)役員はブ
ロック役員を、そしてブロッ
ク役員は全消協役員を支えて
ください。全消協幹事会とし
て会員の皆さんの信頼・負託
に心をつつ、全ての加盟単協
の活動がより良いものとなる
よう、役員一丸となつて取り
組みを進めてまいりますので、
皆さんの叱咤激励を重ねてお
願いし会長就任の挨拶と致し
ます。

全国消防職員協議会

会長 須藤洋典

2021年度

コロナ禍における各種活動の経緯

全消協拡大県代表者会議

2021年3月9日(火) 全消協は第44回定期総会(書面)を補完するため、『全消協拡大県代表者会議』をウェブ会議(各県参集)で開催した。

冒頭、村上全消協会長が、「全国各地で新型コロナウイルス感染症へ対応されている皆様へ敬意を表す。国民・住民の皆さんが安全に安心して暮らせる社会を実現するため、消防行政サービスの充実強化と職場環境の向上をめざし今後も奮闘していく」と主催者挨拶を述べた。

続いて、高橋篤自治労本部副中

央執行委員長が、「消防職員の団結権獲得、職場環境の改善とより良い消防行政の確立に向けて引き続き、全消協と連携を強固にしながら取り組みを進めていく」と力強い連帯の挨拶を述べた。

続いて各種提起のうち各県代表者との活発な議論や意見交換が行われた。最後に、村上会長の団結がんばろうで閉会した。

『第44回定期総会(書面審議)』に関する経過について

全消協事務局長 竹内洋司

【概要】

I 書面総会開催前の対応

1. 幹事会における協議経過
2020年度第3回幹事会第44回定期総会の開催にむけた検討を開始
2. 第4回幹事会
新型コロナウイルスの感染状況を踏まえた開催可否について検討
3. 第5回幹事会
現時点での社会情勢を考慮した開催可否および方法を検討

【全消協発第39号7月31日】
2020年度活動方針小委員会の協議に基づき、役員選出基準の提案と質疑機械の確保についてなど、具体的に定めた内容を発出。

本部提起：『第44回定期総会(書面審議)』に係る経過と今後の取り組みにあたっての検討事項の概要

全消協副会長 須藤洋典

【概要】

1. 第44回定期総会に関する事項

- (1) 書面審議までの経緯(概略)
- (2) 拡大県代表者会議における討議事項

2. 今後の取り組みにあたっての検討事項

- (1) 組織強化・拡大特別支援金制度

- (2) 情報公開・共有・提供のあり方
- (3) 今後の集会等の方向性

3. 今後の全消協活動の展開について

- (1) 消協活動の根本意義の再確認
- (2) 韓国の消防職員の取り組みと成果
- (3) 今後の取り組みにあたって

II 書面審議の経過

- (1) 総会の開催に関する判断
- (2) 発文についての対応事項
3. 発文による対応の経過
第44回定期総会の対応について

【全消協発第35号7月6日】
主催集会に関連して感染者が発生した場合の社会的影響、消防職員の要員確保や感染防止の観点から、第44回定期総会につ



【全消協発第45号8月21日】
総会前幹事会および総会役員(議長・役員選挙委員長)の協議を開催し、①総会の成立要件の確認、②質問および答弁の確認、③賛否等の確認方法、④役員信任投票の方法、などについて検討を行い、定めた内容を発出。

2. 発文による対応の経過について

- (1) 全消協第44回定期総会の対応について(その4)

【全消協発第49号9月7日】
第44回定期総会(書面総会)における議決結果、ならびに今後にむけた会長メッセージを発出。

III 書面総会後の対応

1. 幹事会の経過について

- (1) 総会前幹事会
2. 幹事会の経過について(ウェブ会議：8月20日)
3. 発文による経過について
第44回定期総会の対応について(その3)

今後の取り組みにあたっての検討事項について

全消協副会長 沼田 健太郎
全消協副会長 須藤 洋典

1. 組織強化・拡大特別支援金制度

- (1) 検討経過
- (2) 特別支援金要綱等
- (3) 今後の取り組みとブロックへの要請内容

- ① 今後の取り組みについて
- ② 財政に関する要請

〈財政担当者を選出し適正な出納管理〉

〈合理的な特別支援金の運用〉

2. 2021年度の各種行事の開催方法

(1) 労働講座・ユースステップアップセミナー

- ① ウェブ（Zoomを使用）による複数日開催、② 単協や自宅などのPC等から個別を含めた参加方法、③ 日当等の取り扱い、④ データの限定公開、などの対応について検討を進めている。

(2) 研究集会

6月に香川県高松市において参集を基本に開催する方向で検討を行っているが、今般のコロナ禍を踏まえ多角的に検討している。

(3) 定期総会

広島県広島市での開催予定であるが、情勢は不透明である。可能な限り通常通りの開催方法

とするため、①日程は2021年9月、②組織強化・拡大の観点も踏まえ、中国ブロック内の県で開催する、として検討することを第3回幹事会（12月3日）で決定した。

3. 2022年度以降当面の諸行事に関する考え方

(1) 集会の開催時期および判断

① 集会の開催にあたっては感染状況に注視しつつ、換気等も行いやすい時期の通常開催をめざす。

② 開催可否等にあたっては以下を判断基準に検討する。

- ア 政府レベル（全国）の緊急事態宣言の発令では中止
- イ 都道府県レベルでは当該都道府県の参集を回避し個別にウェブ参加、それ以外の都道府県にあつては県内本部に参集の上ウェブ参加
- ウ ごく少数の都道府県（例えば1都3県）レベルでは当該都道府県の参集を回避し個別にウェブ参加、それ以外の都道府県にあつては感染拡大地域以外で参集参加

エ いずれの場合にあつても、全消協ウェブ会議ガイドラインおよび感染防止ガイドライ

ンを遵守
(2) 集會開催方法等について
以下3つのいずれかを基本とする。

- ① 参集開催
- ② 完全ウェブ開催
- ③ 参集・ウェブの併用（ハイブリッド）開催
- 4. 情報公開・共有・提供のあり方やウェブを活用した活動強化を踏まえた体制（シ

① 多くの会員が活動に参画できる機会の確保

- (1) 目的
- ② 情報収集等の即応性の向上
- ③ 情報の一元化をはかることによる運営の効率化
- ④ コミュニケーションコストおよびタイムラグの削減
- ⑤ 各種研修会の有意性の向上
- ⑥ 各会員の参加意欲の向上

システム構築

(2) システムの構築等
当面する諸行事については、状況に応じてZoomおよびYouTube等を活用して運営を行う。

また、情報共有機能を有するアプリについても検討を進める。さらに、個別のホームページを構築している単協や県消協もあることから、全消協ホームページ上の「単協紹介」とリンクす

るなど、活動の見える化をはかるとともに、特徴的な取り組みや課題への対応などの集約を強化する。

(3) 必要資器材について
ウェブ会議の導入や「3. 2022年度以降当面の諸行事に関する考え方」への対応も踏まえ、必要な資器材の配布等について検討を進める。

質疑応答

各道府県代表者4名から次のとおり質疑がなされ、全消協から答弁がなされた。



質問者 北海道消協会長

遠藤 貴幸（北海道音威子府村消協）

回答者 事務局長 竹内洋司

① 全消協役員に対する活動補助費制度（仮）の創設

全消協における担い手の確保・育成の観点も踏まえ、様々な要素を勘案し検討する時期が来たと認識している。他方、財政面

など様々な懸念材料もあることから、丁寧かつ慎重に検討したい。その際、各ブロックのご意見も頂戴したい。

② ユース部・女性連絡会の活動の活性化

ユース部・女性連絡会の予算については少しずつ増額している。引き続き財政的な支援活動の方

質問者 大分県消協副会長

岡大祐（大分県佐伯市消協）

回答者 事務局長 竹内洋司

向性を示し各地域でのユース世代女性職員の発掘に繋げることが重要であることから、ユース部・女性連絡会の活動をバックアップしていく必要がある。現在も全消協幹事と連帯しながらユース世代・女性会員の組織強化に取り組んでおり人材発掘等の観点からも活性化にむけどのような対応ができるのかを考えていきたい。

① 脱会している宮崎市消協・都市消協との協議の進捗状況

総会から今日までの間に宮崎

市消協・都城市消協と面談を行い、引き続き私たちと共に連帯し活動をしようという思いは伝えてある。コロナ禍において現地での活動ができない状況下にあるが、九州ブロックの佐藤幹事を中心に積極的な情報交換をしている。今後も機会を逸することなく、当地に伺うことが可能であれば意見交換をさせていただく。

質問者 香川県消協組織強化拡大委員
松岡 あゆお (香川県大川広域消協)

回答者 副会長 須藤 洋典

①組織強化・拡大特別支援金の申請書の提出状況

9ブロック全てから申請書の提出が出てきている

②組織強化・拡大特別支援金を会計年度である6月末までに使えなかった場合

執行されていない支援金については返金していただく。

③次年度以降どのような金額設定を考えているのか。また、不公平感があることから平等に活動できるような金額の割り振りや使用に係る要綱の緩和をさせていただきたい。

不公平感があることは認識している。だからこそ、執行した事業についてはきちんと報告をしていただくこととしている旨

をご理解いただきたい。他方、支援金の配分については各県ブロックの実情に合わせるなど、ある程度平等でなければならず、また、縛りを設けすぎることや柔軟な活動の展開へとつながらないとの指摘があることは承知している。今後、実施された事業の結果も見ながら不公平感の解消や活動活性化にむけて精査していきたいと考えている。

質問者 北海道消協会長
遠藤 貴幸

回答者 各県ブロック幹事等

①全国各ブロックのユース部・女性連絡会の組織化に向けた取り組み

◆佐藤 昭徳(九州ブロック幹事)

ユース部組織化の契機となったのは、全消協のPSI加盟である。ユース部を組織化することが目的化しているのではとの疑念もあり、全消協に意見を挙げるためには九州ブロックにもユース部を組織化した上ですべきとの考えがあったため。その中でユース部の活動をしてきた仲間が各県の代表者や各県消協の会長になるなど、その人たちが活動の根幹を担っていることから大きな成果があったと言える。

女性連絡会は独自の目線で活動していただくが、県単位でも会員数が少ない中、ブロックであればたくさんの方が集まり話し合いができるのではということと、九州ブロックでも活動を活性化させている。

◆山端 孝明(四国ブロック幹事)

例年ユース世代を対象とした勉強会を実施しており、ユース世代を中心に運営に携わっている。また、2カ月に1度開催しているブロック会に各県1名のユースの参加を依頼している。

女性連絡会については、ブロックで年に1度女性の集まりがあるが、協議会名に抵抗がある未組織消防本部があることから協議会名は出さず、携われる部分があれば協議会として携わっている。

◆西尾 甚貴(中国ブロック幹事)

福山消防職員親和会にのみ青年部が組織化されており、定期総会や各種学習会を開催している。また、近隣の青年を対象とした学習会への参加要請や近隣のユース活動に参加するなどの活動をしている。会員数の少ない単協ではユース世代が主となり協議会活動を実施しているため、ユース世代に二重に負担をかけてしまう恐れがある。また、予算の関係で組織化に向けて踏み出せない部分があるが、今後の協議会を担っていく人材の育成をするためには青年部の組織化

が必要だと考えている。

◆山田 哲也(近畿ブロック幹事)

ユース部が協議会員全体の約8割を占めており、ユース部として活動する必要性がなくなってきたのが現状。ユース部を解散した単協もあり、ユース部だけを独立させるのは近畿ブロックでは厳しい。女性会員は3名しかおらず、単独は難しいのが現状。

◆浦野 慎治(東海ブロック三重県消協会長)

現在ユース部・女性連絡会はないが、組織強化・拡大特別支援金を活用し、3月18日にユース世代・女性対象の学習会を開催予定。現全消協ユース幹事、元女性連絡会幹事に講師を務めていただき、この学習会を通じてユース・女性世代の活性化に繋がればと考えている。

◆斎藤 好太郎(北信ブロック幹事)

ブロックがないことから長野県消協が主体的に活動しているのが実情。年に数回不定期ではあるが、ユース世代を対象に学

習会や交流会を実施している。女性連絡会には女性数が少ないため、関東甲ブロックや東北ブロックと合同で学習会等を実施した経過がある。

◆田立理(関東甲ブロック全消協事務局長)

ユース世代といった形で分けていない。会議にはユース世代・女性が一緒に参加している。今後、ユース世代・女性が増えると思われる必要はあると思うが、現状では共同で活動ができていためにしばらく様子を見たい。

◆高木 伸也(東北ブロック幹事)

ユース部・女性連絡会はないが、各単協に35歳以下の会員を集めたグループはある。過去にユース部設立に向けた会議を実施してきた経過はあるが設立には至っていない。また、女性会員が少ないことから、組織設立に向けて女性会員を増やすことが必要であるため、組織強化・拡大特別支援金などを活用し取り進めていきたい。

◆小野 英一(北海道ブロック幹事)

ユース部・女性部設立に向けて現在活動中。道消協では年に1回青年と女性を対象にした青年女性研修会を開催している。また、女性を集めた女性交流会を開催している。今年度は新しい取り組みとして、北海道から選出している女性連絡会の幹事、ユース部の幹事が主となり、研修会の開催に向けて準備にあたっている。北海道は広大な面積があるため、5つのブロックに分けている。その中からユース世代の代表を1名ずつ出していたが、女性・ユース代表と協力しながら研修会を開催する方向で動いている。

ユース・女性部設立に向けて現在活動中。道消協では年に1回青年と女性を対象にした青年女性研修会を開催している。また、女性を集めた女性交流会を開催している。今年度は新しい取り組みとして、北海道から選出している女性連絡会の幹事、ユース部の幹事が主となり、研修会の開催に向けて準備にあたっている。北海道は広大な面積があるため、5つのブロックに分けている。その中からユース世代の代表を1名ずつ出していたが、女性・ユース代表と協力しながら研修会を開催する方向で動いている。



研修会開催の様子

第51回労働講座(ウェブ講座)

5月7日、ウェブ会議にて開催し、全国各地から118人(うち未組織職場参加者3人)が各地の自治労本部や自宅などから参加、村上会長から主催者を代表して挨拶を行い、講座を開始した。

全消協幹事が、6つの講座で講師を務め、参加者は各講座で学習を深めた。

●講座Ⅰ「組織強化・拡大」

(佐藤昭徳 九州ブロック幹事)

●講座Ⅱ「労働安全衛生」

(山端孝明 四国ブロック幹事)

●講座Ⅲ「①賃金・②労働条件」

(高木伸也 東北ブロック幹事)

●講座Ⅳ「財政」

(斉藤好太郎 北信ブロック幹事)

●講座Ⅴ「男女平等参画」

(長谷川亜純 女性連絡会代表)

●講座Ⅵ「国際連帯活動」

(竹内洋司 全消協事務局長)

また、参集開催と同様に「ブレイクアウトルーム」の機能を用いたグループ討議の時間を設け、参加者同士で課題の共有や、活発な情報交換をしながら会員相互の繋がりを築いた。

最後に、須藤洋典副会長が、「今回の講座を通じて得られた知識を、ブロックや県消協、単協の活動に生かして、職場環境が改善され、誇りとやりがいをもって仕事に望むよう願っている」と総括を行い終了した。

研究集会について

6月18日、ウェブを併用した研究集会を開催し、188人の参加があった。

午前は、岩手県大船渡地区消防組合職員互助会、萩野渉会長から「東日本大震災時の活動」について講演をいただいた。今年で東日本大震災から10年となり、全消協としても、この未曾有の災害について忘れることがないよう、また、全国で現場活動の実態について認識を共有し、災害対応を図れるようにしていかなければならない。

午後は、Zoomの機能を活用してのグループワークを行った。グループ討議のテーマを、①「コロナ禍も含めた現場課題等について」、②「今後の全消協活動について(具体的活動方針)」の2点に設定した。コロナ禍により、全国の交流が減っている中であつたが、グループ討議を通し、さまざまな情報の共有や、顔の見える関係の構築にむけては、有効な手段となつた。

最後にはアンケートを実施し、各種集会の運用改善にむけた意見集約の機会とした。



写真は第51回労働講座。感染対策を講じ学習を深めた



研究集会では、職場課題やコロナ禍での活動に関して活発な議論が行われた

2021春闘

須坂消協の取り組み

2021自治労春闘動画コンテストへの応募

須坂市消防職員協議会 丸山 浩志/山岸 数馬

今回、須坂消協として2021自治労春闘動画コンテストへ応募させていただいた。去年から続くコロナ禍の影響で計画していた協議会活動の中止が相次ぎ、幹事会でも何かできることはないかと模索する日々が続いた。そのような状況下で、自治労からこの企画への誘いがあり、応募してみようということとなった。

動画の制作は初めてだったが、簡単にできると思っていただけ、4回も撮り直すことになり、転んで地面に付く手も赤くなり痛かったのが思い出される。動画編集も慣れない作業だったが、楽しく作ることができた。

現在もコロナウイルスで消防の労働環境は大変な状況が続いているが、こんな時だからこそ、同じ仲間として団結し乗り越えていこう!!

①消防職場の勤務について少しでも皆さんに知ってもらおうと

②消防署のあるあるでクスッと



「〇〇日午前〇時頃、〇〇区の住宅から火が出ました。〇〇消防庁のポンプ車など35台が駆けつけ、火はおよそ2時間半後に消し止められました」

このようなニュースを目にすることがあります。私は、このような時に「消防車35台とは、ほぼ私の地域の、全署、全総力の出動台数だな」と考えてしまいます。

同じ気象状況、同じ立地条件、同じ構造の全く同じ住宅が2棟建っていた場合に、大都市と田舎で延焼のしかたに違いはあるのでしょうか。おどろくはないと思います。

違いがないのに、一方で消防力の整備方針に基づいた乗車人員が乗車し、35台の消防車が出動して、一方で、2〜3人が乗車した消防車が2〜3台出動し、消火活動する。

このようなニュースを見たときに、ただ単に「すごい出動台数だな」と思うのか、「住んでいる場所により、住民に提供する消防行政に不公平が生じているのでは」と考えるのかは、その

人の置かれている状況により異なるのではなごうでしょうか。150人以上の消防職員が出動するのに対し、一方で10人程度が出動する。消火活動という労働力を提供する現場においてもこれだけの差が生じる場合があるのです。この差は、隊員一人ひとりの安全にかかわり、私たちが安全に活動できてこそ、任務が遂行され、結果的に住民を守ることができないではないでしょうか。

災害活動後に検証等をした時に、有効な活動ができず、反省点が出てくる場合がありますが、それは現場に出動した隊員たちが原因なのでしょうか。必ずしも隊員の活動が原因とは限らず、その組織の職員数、出動台数が根本的な原因の場合もあるような気がします。

時々、災害活動の後に、自分たちの活動した、労働環境、労働条件を労働者として検証してみることも大切ではないでしょうか。

齊藤好太郎(北信ブロック幹事・長野県上田消協)

新潟市消協の取り組み

新潟市消協春闘アピール

新潟市消防職員協議会

新潟県本部組織拡大担当者から街頭行動に参加してもらえないかと連絡が入った。普段からの繋がりのおかげであり、ありがたい言葉である。何を伝えようか。市民に関係のあること及びタイムリーな話題として①東日本大震災から10年というタイミングから、緊急消防援助隊について、②新型コロナウイルス禍での救急隊の現状をテーマにした。

緊急消防援助隊については、装備に特化した。3月の寒空下、エアントンを使って野営する本部もあれば、運動会で使うようなテントに垂れ幕を付けただけで野営している消防本部もあつた。被災地住民も緊急消防援助隊には期待をしてくれており、より良い活動をするために最低限の衣食住の用意は必要である。県隊として行動する以上、市町村に任せただけでなく県の関与も必要だと訴えた。

次にコロナ禍での救急隊の現状である。当たり前であるが救急隊員も陽性者の搬送をしている。知らないうちにファーストコンタクトもしている。現場で苦勞もしている。国はもつと救急隊が現場で活躍していることを広報すべきだと訴えた。

だが本当に訴えたいことは、「感染防御資器材は用意する、ワクチンの優先接種も認める、しかし感染症対応従事者とは認められない」という現状である。一方で、雇用形態や資格、業務に関わらず幅広い範囲の医療機関従事者は感染症対応従事者として認められている。ここに違和感を覚えている消防士は多くいると思う。

団結権を持たない我々消防士にとつて自治労は強力なパートナー。普段から各県本部との繋がりをしっかりとしておくことが、今もそして今後も現場で活躍する消防士のために必要である。

最新の全消協活動を配信中です

ぜひアクセスや「いいね!」をお願いします。

女性連絡会 Facebook



女性連絡会 Instagram



全消協 ホームページ



全消協 Facebook



全消協 Twitter



ユース部 Facebook



次回、全消協の予定

2021年12月9日 第52回労働講座
ハイブリッド(ウェブ・参集併用)開催 東京都

2022年2月 単協代表者会議
ハイブリッド(ウェブ・参集併用)開催 東京都